

【宮崎市】HPV ワクチン接種率向上の取り組み (自治体編)

子宮頸がんワクチン接種の推進に注力し、接種件数の倍増を達成されている宮崎市様にインタビューしました！

子宮頸がん罹患(りかん)率ワースト 1 位を返上したい！

ワクチン接種の啓発を推進する宮崎市の取り組みとは？

宮崎市では子宮頸がん予防に対する意識を高めてもらうため、宮崎県産婦人科医会の先生(医師)などによる市内の中学校への「出前講座」や子宮頸がんワクチン接種の機会を逃した方を対象にしたキャッチアップ接種のために臨時接種会場を設けるなどの取り組みを実施しています。

今回は、宮崎市役所 子ども未来部 親子保健課の植田大聖様(写真左)と佐藤啓悟様(写真右)に、子宮頸がんワクチン接種の啓発に関する取り組みの概要や今後の展望などのお話を伺いました。



■医師でもある清山知憲市長が子宮頸がんワクチン接種の啓発を牽引

—子宮頸がんワクチン接種の推進に注力されるようになった背景を教えてください。

宮崎県は、子宮頸がんの罹患(りかん)率が全国ワースト 1 位である中、国の長期にわたる接種勧奨差し控えの影響もあり、子宮頸がんワクチンの接種率も低迷している状況です。

医師である市長は、市長に選出される以前からこのような実情を懸念していました。そのため、令和5年度より啓発事業を立ち上げ、「キャッチアップ接種(※)」が終了となる令和6年度末までに接種率を上げるため、様々な取り組みを実施しているところです。

(※)2022年4月1日～2025年3月31日までの3年間の期間限定で積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方を対象に実施する予防接種のこと

キャッチアップ接種の対象者(平成 9～19 年度生まれの女性)には大学生の方が多いので、県外の大学に通われている方から「県外でも接種できるのか」という問い合わせがありました。また、「キャッチアップ接種はいつまでやっているのか」というご質問もあります。多くの方が、関心を寄せてくださっているようです。

■接種対象者に対する積極的なアプローチ

—子宮頸がんワクチン接種啓発に関する取り組みの概要を教えてください。

令和 5 年度の取り組みとして、接種対象者への個別通知やテレビ CM、ウェブ広告などを行いました。

個別通知は定期・キャッチアップの対象者全員に対して、2023 年 6 月と 2024 年 3 月の 2 回行っています。2 回目の個別通知では、対象者だけでなく、保護者で情報が止まらないように、産婦人科の先生から保護者の方に向けたメッセージを記載するなど様々な工夫をしました。

また、宮崎市の特徴的な取り組み(*)として、市内の全中学校に対して宮崎県の産婦人科医会の協力を得て「出前講座」を実施しました。それに加えて、宮崎大学で臨時のワクチン接種会場を設けて接種しやすい環境もつくりました(令和 5 年度は宮崎大学の学生と職員が対象)。

(*)別添資料:宮崎市 子宮頸がんワクチン啓発の取組み

—中学校での出前講座はどのような経緯で実施されたのですか。

2022 年から検討をはじめました。当初は「市内全校実施は難しい」ということで、希望される学校限定で実施することを想定していましたが、市長の「全校でやるべき」という熱い思いから教育委員会と再調整の末、全校で出前講座を実施することとなりました。

過去の子宮頸がんワクチン接種による副反応疑いの問題から、ワクチン接種の啓発を不安視される方もいらっしまったのですが、臨時で中学校の校長会を開き、副市長や教育長、産婦人科医にも参加していただき、各々の立場から校長先生方をお願いし、理解していただくことができました。

実際に生徒たちに接しておられる教職員の方には宮崎県立看護大学の川越教授の説明動画を視聴していただき、子宮頸がんワクチン接種の必要性を理解していただきました。何かあった際は学校側が対応に追われるので、学校の現場にどう理解してもらうかと、保護者からの相談等については市がきっちりと対応するというを示すことが重要かと思いました。

出前講座の実施については、標準的な接種年齢が中学 1 年生であるため中学校 1 年生を中心に、産婦人科医による講演をしていただきました。子宮頸がんの主な原因が HPV(ヒトパピローマウイルス)であり、女性に限らず男性も関係する病気(肛門がんや中咽頭がんなど)の原因になっているということ、身近な女性の健康を守るためにもワクチン接種と検診の必要性を理解してもらうために、男女問わず聞いてもらうように中学校にお願いをしました。また、中学生が自分の意志だけで接種することは考えにくく、保護者の意識も変える必要があるため、可能な限り保護者にも同席してもらいたい旨を伝えました。結果として、参観日に合わせて出前講座を実施する学校が多く、保護者の方にも医師からのメッセージが伝わっているものと思います。



—2023 年 11 月に宮崎大学で臨時のワクチン接種会場を設置されていますが、どのような経緯で行われたのですか。

宮崎大学を臨時の接種会場にすることは、2023 年7月頃から検討を始め、宮崎市から大学側に働きかけ、了承を得ました。その後、大学側と接種可能な人数や緊急時の対応等について何度もやり取りを行いました。当初はモデル事業ということもあり、1日30接種程度を想定していましたが、大学側のご理解もあり、1日50接種まで枠を広げていただき、10 月に学生の皆さんへ案内を始めました。

年度内に 2 回接種を実施したいと考えていましたので、2 月から春休みに入る大学生のスケジュールを逆算し、2 回目接種を 1 月に、そして接種間隔の都合上、1 回目接種を 11 月に行うという判断に至りました。そのため、案内から申し込み締め切りまで 3 週間という短い期間しかなく、事前調整があったとはいえ、かなりのスピード感をもって動きました。

※ワクチンの種類にもよりますが、1 回目と 2 回目の接種期間として 2 か月ほど開けます。



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。

※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2-3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。

※4-5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※4)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上(※5)あけます。

参考:厚生労働省 HP HPV ワクチンに関する Q&A

私たちが宮崎大学にチラシを配りに行ったのですが、学内の至るところに臨時接種会場設置のポスターが貼ってあったり、学生から「もう予約しました」というお声をいただいたりしました。大学職員の方々にも学生への呼びかけなどかなりご尽力いただき、感謝しています。結果的におよそ150の方が、宮崎大学でワクチンを接種していただくことができました。

■さらなる啓発活動により、接種率を向上させ、罹患率ワースト1位を脱却したい
—令和6年度以降の取り組みについて教えてください。

中学校での出前講座に関しては、今年度も実施予定です。接種対象者及び保護者に継続して働きかけ、接種率を上げていきたいと考えています。

子宮頸がん予防(HPV)ワクチン 接種件数・接種率

延べ接種率(～令和6年2月)										
～R6.2	対象者数 R5.4.1時点 (A)	延件数 (A)×3回 (B)	計		第1回		第2回		第3回	
			延件数 (C)	接種率 (C)÷(B)	件数 (D)	接種率 (D)÷(A)	件数 (E)	接種率 (E)÷(A)	件数 (F)	接種率 (F)÷(A)
キャッチアップ	18,225	54,675	22,536	41.22%	8,575	47.05%	7,655	42.00%	6,306	34.60%
高校1年生	1,948	5,844	1,858	31.79%	798	40.97%	645	33.11%	415	21.30%
中学3年生	1,962	5,886	1,256	21.34%	630	32.11%	416	21.20%	210	10.70%
中学2年生	1,947	5,841	767	13.13%	423	21.73%	216	11.09%	128	6.57%
中学1年生	1,966	5,898	521	8.83%	339	17.24%	138	7.02%	44	2.24%
小学6年生	1,979	5,937	207	3.49%	170	8.59%	37	1.87%	0	0.00%
定期計	9,802	29,406	4,609	15.67%	2,360	24.08%	1,452	14.81%	797	8.13%
総合計	28,027	84,081	27,145	32.28%	10,935	39.02%	9,107	32.49%	7,103	25.34%

参考:宮崎市 子ども未来部 親子保健課様 提供資料

大学での臨時接種会場については、昨年度の1か所から2か所に増やして実施する予定です。昨年度と違い、在籍する学生だけでなく、大学生なら誰でも受けられるようにするなど接種対象者の幅も増やして行う予定です。

また、2024年4月から医療機関の協力を得て夜間接種が始まります。定期接種対象者は部活などが始まる時期ですし、キャッチアップ世代はお仕事をされている方もいらっしゃるかと思います。そこで、日中接種できない方に対して接種機会を提供するため、17時から最大20時まで、接種を行うことができる取り組みを開始しました。

目標は、令和6年度末までに、定期接種1回目の接種率を50%(2024年2月時点で約24%)、キャッチアップ接種1回目の接種率を60%(2024年2月時点で約47%)に設定しています。定期接種に関しては、高校1年生は40%を超えるなど、学年によっては接種率が上がっていますが、小6、中1などはまだ多くの未接種者が存在しています。早期接種がより効果的なので、今後も働きかけを継続していきたいです。

—最後に、今後保健事業に関わる方々に向けてメッセージをお願いします。

宮崎市では令和 5 年度の接種件数が、昨年同時期と比べて 2 倍以上に増加しました。この結果から多くの自治体からお問い合わせをいただいています。もし必要であれば、宮崎市が使った資料の提供なども行いますので、他の自治体でも積極的に子宮頸がんワクチン啓発に取り組んでいただければと思います。

ワクチン接種に関しては、実際にネット等を通じて色々なご意見をいただくこともあります。そういった中でも、きっちりと正しい情報発信を続けてきたことで接種率も上がってきたのだと思います。大多数の方は、「どうしたらいいかわからない」「正しい情報がわからない」「もっと情報がほしい」という状況だと思われるので、自治体側がめげずにどんどん情報を提供し続け、ワクチン接種に対する機運を高めていくことで、子宮頸がんという怖い病気はワクチンによって予防できるということが社会全体に広まっていくのではないかと考えています。



左から

宮崎市 子ども未来部 親子保健課 主任主事 佐藤 啓悟 様

宮崎市 子ども未来部 親子保健課 主事 植田 大聖 様

株式会社アステム 宮崎営業部 地域アクセス・流通政策部 部長 生駒 栄人 様

株式会社アステム 宮崎営業部 医療連携・病院統括部 部長 中村 洋二 様

※所属名は、インタビュー当時(2024 年 3 月 5 日)の名称です。

別添資料:宮崎市 子宮頸がんワクチン啓発の取組み

子宮頸がんワクチン啓発の取組み

令和6年1月29日時点
親子保健課作成

月	宮崎市	その他
4月		●UMK Linkにて子宮頸がん特集の放送(4.20)
6月	<p>●<u>出前講座開始(6.2～)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公立中学校の全27校で実施予定。 <p>●<u>専門学校、県立高校、私立高校、特別支援学校等へのリーフレット配布(6月中旬～)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計約40校の生徒に啓発リーフレット配布。 <p>●<u>対象者への個別通知(6.30)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者約26,000人へ、接種機会を確保しやすい長期休暇(夏休み)前に合わせて勧奨を行う。 	<p>●UMK U-dokiにて子宮頸がん特集の放送(6.3)</p> <p>●宮崎日日新聞にて出前講座の記事掲載</p> <p>●NHK 宮崎にて出前講座の様子の放送</p> <p>●MRT チェックにて子宮頸がん特集の放送(6.20)</p> <p>●UMK Linkにて子宮頸がん特集の放送(6.23)</p>
7月	● <u>宮崎商工会議所会報7月号に掲載、市広報7月号で特集ページの掲載</u>	
8月	<p>●<u>テレビCM、Web広告の配信開始</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元中学生、若年層の子宮頸がん経験者が出演。 <p>●<u>包括的連携協定企業との取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治安田生命⇒通常の営業活動に合わせて市のリーフレット配付。 <p>●<u>宮崎日日新聞への広告掲載(8.25)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種勧奨に関する広告を掲載 	
9月		●UMK Linkにて子宮頸がん特集の放送(9.28)
10月	<p>●<u>各関係団体等への啓発①</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種を実施していない医療機関、保育所、幼稚園、認定こども園、介護施設へリーフレット送付。 	<p>●MRT CheCk!に職員が出演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がんワクチンの啓発。 <p>●UMK Smileに職員が出演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がんワクチンの啓発。
11月	<p>●<u>各関係団体等への啓発②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯医者、イオンモール宮崎テナント(250店舗)、美容室、飲食店等へのリーフレット送付。 <p>●<u>宮崎大学での臨時接種会場設置(11/21、11/22)</u></p>	●NHK 宮崎にて臨時接種会場設置の様子を放送。
12月	<p>●<u>各関係団体への啓発③</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎交通、アミュプラザ宮崎、各金融機関へポスター掲示、リーフレット配布を依頼。 	
1月	<p>●<u>20歳の集いにおける啓発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン会場を含む24か所にポスター及びリーフレットを設置。 <p>●<u>宮崎大学での臨時接種会場設置(1/24、1/25)</u></p>	

参考:宮崎市 子ども未来部 親子保健課様 提供資料